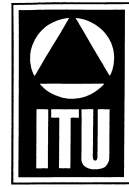




# (社)日本トライアスロン連合：JTU

(財)日本体育協会：JASA 加盟  
 (財)日本オリンピック委員会：JOC 加盟  
 国際トライアスロン連合：ITU 理事国  
 アジアトライアスロン同盟：ASTC 理事国

Affiliated to :



〒150 0002 東京都渋谷区渋谷 2-9-10 青山キングビル 3F  
 Tel. 03-5469-5401(代) Fax 03-5469-5403 <http://www.jtu.or.jp>

報道関係各位

(社)日本トライアスロン連合  
 会長 猪谷千春

## 2000 JTU日本トライアスロングランプリ 男子 小原工 女子 庭田清美が受賞

日本トライアスロン連合(東京都渋谷区：会長猪谷千春)は、2000年度(平成12年)に活躍した選手、トライアスロンの発展に貢献した団体を表彰する「2000 JTU日本トライアスロングランプリ」を開催、最優秀選手には、男子、女子ともシドニーオリンピックで活躍した小原 工(チームテイケイ)、庭田清美(千葉県連合)がそれぞれ選ばれた。小原選手は6年連続6回目、庭田選手は1998年以来2年ぶり3度目の受賞となった。

この他、優秀選手賞男子8名、女子8名、新人賞男子3名、奨励賞男子2名、女子1名、会長賞(主催団体部門2団体、関連団体1団体、個人部門1名、学生部門1団体、男女各1名)を選出し表彰を行った。

各受賞者及び団体は、以下の通りです。

### 2000 JTU日本トライアスロングランプリ 各賞受賞者一覧

<最優秀選手賞> 男子：小原 工(チームテイケイ)  
 女子：庭田清美(千葉県連合)

選考理由：優秀選手のうち、推薦票数が最も多かった(両名とも推薦総数の過半数を獲得)。選考委員会もこの推薦を尊重した。シドニーオリンピックでの活躍が評価されたものと思われる。

<優秀選手賞> 男子：斎藤大輝(アラコ)

選考理由：日本選手権長良川大会を征したのを筆頭に、ジャパンランキングでも上位進出するなどの好成績を修めた。

柴田卓也(愛知県協会)

選考理由：98年末の交通事故による右腕の故障を克服し、ロングディスタンストライアスロン日本選手権佐渡大会優勝をはじめ、ロングディスタンス大会でめざましい活躍を残した。

柴田良幸(岩手県協会)

選考理由：デュアスロンのワールドカップ、世界選手権に精力的に参加し、国内トップデュアスリートとして世界に名を知らしめた。

進藤直樹(北海道連合)

選考理由：第2回日本ウィンタートライアスロン選手権を征し(第1回大会優勝した弟の隆は今回2位)、兄弟でウィンタートライアスロンの適性の高さを示した。

**西内洋行(チームテイケイ)**

選考理由：シドニーオリンピック代表、国際大会2勝(天草、村上)、ジャパンランキング年間1位と躍進を遂げた。

**福井英郎(シャクリ・FILA・GT・グリーンター)**

選考理由：シドニーオリンピックで水泳を5位でフィニッシュするなど、積極的なレース展開で会場を盛り上げた。

**山本淳一(チームNTT 東日本)**

選考理由：スプリントトライアスロン選手権を2連覇するなどの好成績を修めた。

**女子：大内(細谷)はるな(ニデック)**

選考理由：シドニーオリンピック地域別代表選考大会でもあった、アジア選手権蒲郡大会の優勝をはじめ、ワールドカップ石垣島大会2位などの好成績を修めた。

**大松沙央里(日本女子体育大学)**

選考理由：2年連続でトライアスロン世界選手権エリートジュニアカテゴリーでトップ10入りを果たしたのを始め、日本スプリントトライアスロン選手権でシニアの強豪選手を押さえ総合優勝を果たすなどの健闘を見せた。

**小梅川雪絵(チームテイケイ)**

選考理由：オリンピック代表の座こそ逃したものの、日本選手権3度目の優勝、ジャパンランキング1位と年間を通じて好成績を修めた。

**志垣めぐみ(宮崎県連合)**

選考理由：持病の腰痛を克服し、日本ロングディスタンス選手権佐渡大会を優勝で飾り、見事にカムバックを果たした。

**関根明子(NTT 東日本/NTT 西日本)**

選考理由：世界選手権で日本人過去最高位の9位に入賞するなどの好成績を修め、シドニーオリンピック代表を獲得した。

**中西真知子(チームNTT 東日本)**

選考理由：水泳からの先行逃げ切りスタイルを確立、国際大会2勝を果たすなど好成績を修めた。

**松岡由里(北海道教育大学)**

選考理由：前年度チャンピオンを押さえ、第2回日本ウィンタートライアスロン選手権を征した。

**松本晴美(岡山県協会)**

選考理由：デュアスロン、ロングディスタンストライアスロンと多方面に渡り好成績を修めた。

< 新人賞 >

男子：狩野智彦(県立渋川高校/群馬県協会)、田山寛豪(流通経済大学)、平野 司(東豊中高校/大阪府協会)

選考理由：ジュニア選手ながら、大人(シニア)の選手と互角の実力は発揮し、好成績を修めた。(なお、女子選手には男子に匹敵する活躍を残した選手が見当たらなかったため、「該当者なし」とした)

女子：該当者なし

< 奨励賞 >

男子：佐藤 宰(新潟県連合)

選考理由：70歳を超える年齢でありながら、1ヶ月のうちに長短距離2大会に出場・完走を果たし、その健脚振りを見せた。

男子：吉田直弘(堺市立原山台中学 / 大阪府連合)  
女子：正月美千子(堺市立福泉南中学 / 大阪府連合)  
選考理由：オールキッズトライアスロン大会で総合1位となり、JOC ジュニアオリンピック  
カップを獲得した。

<会長賞> 主催団体部門：2000ASTCアジアトライアスロン選手権蒲郡大会実行委員会

選考理由：シドニーオリンピックの地域別代表選考大会として開催の成功を修め、国内外関係  
者から運営と安全性が高く評価された。

皆生トライアスロン協会・鳥取県観光協会・米子市観光協会  
(全日本トライアスロン皆生大会主催団体)

関連団体部門：小原 工 後援会

選考理由：シドニーオリンピック代表の小原選手を支援する団体として活発に活動し、七千名  
を越す入会者を獲得するなど、地域のトライアスロン認知と普及に多大な貢献を果  
たした。

個人部門：鈴木貴里代(愛知県協会)

選考理由：選手活動にのみ留まらず、地元大会運営や審判員活動に積極的に携わり、シドニー  
オリンピックでもトライアスロンの競技マーシャルとして活躍、海外でも高い評価  
を受けた。

学生部門：2000FISU世界大学トライアスロン選手権

ティサウイパローシュ大会日本代表選手団

選考理由：女子個人で4位、女子団体で2位に入賞し、日本チームのレベルアップを果たした。

大松沙央里(学連；日本女子体育大学)

選考理由：大学1年生ながら大学選手権と大学スプリント選手権で優勝し2冠を果たした。

菊地次郎(学連；山形大学)

選考理由：学生選手権で3連覇を達成した。



左：庭田清美選手 右：小原 工選手

【本件に関するお問い合わせ先】

日本トライアスロン連合広報事務局

TEL：03-5467-3379 FAX：03-5467-3483

担当：宮前・小林